令和８年９月２５日

爽風（そうふう）の丘

～ ロ之津小学校　学校だより ～　　第７号

【学校教育目標】
“ やさしく　かしこく
たくましく “

文責　校長　山本 孝二

災害から身を守る

１８日（金）に、特別教室の火事を想定した避難訓練を実施しました。予告ありの訓練でしたが、今夏に目立った火事の多さや半島内の学校火災からも、真実味をもたせる意図がありました。

「避難開始！」の指示から、運動場の全員避難完了確認まで、３分２１秒でした。先生方の指示系統と指導が行きわたり、早く集合ができました。何より「あおはしも」を守っていた（どんな意味か尋ねてみてください）子供たちでした。真剣さが見える子が多くいました。

担当からは、火事の避難と合わせて地震への対応が確認されました。高学年の宿泊を伴う行事でも、命を守る判断力・行動力についての実践の場になっていきます。

私からは「火事を起こさないこと」の話をしました。マッチやライターを軽い気持ちで触らないことや火遊びの禁止についてです。ご家庭でも声かけや物の管理は話題にしていただきたいことです。

中学生が職場体験に

卒業生で、ロ之津中学校２年生２名が、１６日・１７日に本校で「職場体験学習」を行いました。

将来の進路・職業への意識を高め、働くことの意義や楽しさの実感を図るキャリア学習の一環です。２日間、すべての学級に学習支援や授業準備、活動のサポートなどで関わってもらいましたが、親しみをもって、よく子供たちと接していました。６年生の時間では、「中学生になるまでにしておくこと」や「小学校との違い」等を伝え、進学への安心感を持たせる役割も果たしてくれました。我々教職員にとっても、小学生の時からの成長を直に見られてうれしく頼もしく思えました。

体験学習終了時のあいさつで、楽しさや大変さの言葉と共に、具体的な将来の話があり、職場体験学習の成果を見ることができました。

小学校でも、２学期は多くの体験学習が展開されます。普段の授業と各体験とのつながりを大切にしながら進めていきます。体験学習がもつ、自主・自発、探究心、感動といった多くの価値を深めていきたいと、改めて今回の職場体験で考えました。



今後の行事予定

９月２９日（火）　２年まち探検（６か所）
１０月　８日（木）　６年修学旅行(佐世保・長崎へ　～９日)
　　３年部会　給食試食会
　９日（金）　２年部会　給食試食会
　１５日（木）　授業参観・学級部会（１・３・５年）
　１６日（金）　授業参観・学級部会（２・４・６年）
　１９日（月）～「そうじ大好き週間」（２３日まで）
　２２日（木）　４年水処理センター見学
　２３日（金）～「家族１０分間読書」（３０日まで）
　２７日（火）　１年生活科体験学習（諏訪の池へ）
　３０日（金）　ロ之津中学校合唱コンクール（６年参観）



３年生の地域学習や５・６年生のゲストティーチャーを招いての家庭科学習、研究授業など、特色ある学習活動が続きます。
ＰＴＡの部会親睦行事も予定されています。

学校と家庭をつなぐ教育相談
『ひだまり』スタート！！

昨日配付したプリントが意図や詳細を知らせたものです。

１０月からサロン形式の語らいの場『ひだまり』を立ち上げます。困りごとの有る無しにかかわらず、保護者の方々と話ができる機会になることを願っています。担当が日時の事前確認はさせていただきますが、お子様やご家庭の子育てについて一緒に考えていけたらと思っています。

通常の相談等の連絡は当然そのままです。こちらも遠慮なく、です。



普賢岳災害を語り継ぐ

３５年前の６月３日の大火砕流により４３名の尊い命がなくなったり、何年間も避難生活を余儀なくされたりしました。深江の大野木場小学校が同年９月１５日の火砕流の熱風で消失したことから、南島原市の学校では「普賢岳災害を語り継ぐ日」として取組を行っています。

放送を使って当時の状況や教訓的な話をしました。噴火の規模と火砕流や土石流によって当たり前の生活が失われたこと、身近な地域であったこととして知ることの大切さ等を伝えました。しかし、聞くだけでは話が一方的で発達段階の差もあり、受け止め方は様々です。玄関のモニターに、災害時の写真を映し出したところ、数名の子が感想を言ってくれました。色のことを話してくれたのは印象的です。



命を守ること、日常生活を大切にして防災の備え（心・行動）をしっかりする、ということが、楽しく笑顔で生活できることの基になっていると考えさせられます。

学校運営協議会の取組として、昨年度から計画されていた、地域のあいさつ啓発のための「のぼり旗」が学校に届きました。早速学期始めのあいさつ運動でお披露目しました。中学生が考えたデザインのもと、**『あいさつで　笑顔きらめく　口之津っ子』**の標語が目を引きます。



学校運営協議会では、地域と学校とで、育てたい子ども像を考え、目標としています（３つ）。

１　あいさつ、返事ができる口之津っ子
２　進んで考え、行動する口之津っ子
３　ふるさとに誇りが持てる口之津っ子

口之津小の取組**「またあえる」**も、地域で広げていくように指導中です。



新しい機種の１人１台端末 が、当初の予定より早く今月配付されました。基本ソフトがマイクロソフトからグーグルに変わったことで、操作や指導法について、より有効的に使えるように研修も入れて進めています。

持ち帰りの学習も計画する中、これまでのタブレットケースがやや小さいという状況が数人からですが聞こえてきています。ご家庭で用意していただいておりましたので、今後確認後に購入をお願いします。よろしくお願いします。